



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キョウデン

コード番号 6881 URL <http://www.kyoden.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 鐘畿

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 鈴木 章浩

TEL 045-929-0501

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	28,208	△3.4	839	△44.1	749	△47.0	332	△59.3
24年3月期第3四半期	29,196	△2.8	1,501	26.6	1,414	44.3	816	△22.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 469百万円 (△39.6%) 24年3月期第3四半期 777百万円 (△26.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	6.82	—
24年3月期第3四半期	16.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	40,646	10,695	26.2
24年3月期	39,324	10,348	26.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 10,656百万円 24年3月期 10,336百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	△4.3	1,100	△45.6	800	△58.3	100	△87.7	2.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	52,279,051 株	24年3月期	52,279,051 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	3,592,530 株	24年3月期	3,592,530 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	48,686,521 株	24年3月期3Q	48,686,521 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により、回復傾向が見られたものの、厳しい雇用情勢及び世界経済の減速への懸念などを背景として、予断を許さない状況が続きました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3.4%減の28,208百万円、営業利益は44.1%減の839百万円、経常利益は47.0%減の749百万円、四半期純利益は59.3%減の332百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(プリント配線基板事業)

プリント配線基板事業におきましては、世界的な景況感の悪化や新興国メーカーの台頭等で価格競争面においても厳しい状況となっております。自動車関連分野の回復がみられましたが、その他の分野の低迷の影響を受け減収減益となりました。

この結果、売上高は3.2%減の22,921百万円、営業利益は48.9%減の568百万円となりました。

(工業材料事業)

工業材料事業におきましては、混和材は需要が持ち直しつつあり前年同期に比べ販売量が増加しましたが、その他硝子長繊維原料等は需要が伸び悩み販売量は減少しました。

この結果、売上高は4.2%減の5,286百万円、営業利益は25.5%減の288百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、40,646百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,322百万円増加しました。主な増減は、受取手形の減少133百万円、売掛金の増加829百万円、未収還付法人税の減少227百万円及び建設仮勘定の増加985百万円であります。

負債の残高は29,951百万円となり、前連結会計年度末に比べ975百万円増加しました。主な増減は、支払手形の減少107百万円、買掛金の増加368百万円及び有利子負債の増加750百万円であります。

純資産の残高は10,695百万円となり、前連結会計年度末に比べ346百万円増加しました。主な増減は、前期決算に係る配当金146百万円及び四半期純利益332百万円による利益剰余金の増加186百万円及び円安による為替換算調整勘定の増加131百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年11月2日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ9百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,227	8,137
受取手形及び売掛金	10,830	11,526
有価証券	500	500
商品及び製品	1,112	1,154
仕掛品	1,076	993
原材料及び貯蔵品	2,295	2,368
その他	855	698
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	24,890	25,374
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,345	6,326
その他(純額)	5,845	6,982
有形固定資産合計	11,190	13,308
無形固定資産		
投資その他の資産	175	198
その他	3,150	1,851
貸倒引当金	△82	△86
投資その他の資産合計	3,068	1,765
固定資産合計	14,434	15,272
資産合計	39,324	40,646
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,826	5,086
短期借入金	6,996	7,353
1年内返済予定の長期借入金	3,174	3,284
未払法人税等	140	57
賞与引当金	476	317
その他	3,047	3,427
流動負債合計	18,661	19,527
固定負債		
社債	940	1,050
長期借入金	5,284	5,358
退職給付引当金	1,335	1,434
役員退職慰労引当金	1,307	1,292
負ののれん	276	—
その他	1,171	1,288
固定負債合計	10,314	10,423
負債合計	28,975	29,951

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,358	4,358
資本剰余金	4,159	4,159
利益剰余金	3,512	3,699
自己株式	△681	△681
株主資本合計	11,348	11,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	37
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	△1,047	△916
その他の包括利益累計額合計	△1,012	△878
少数株主持分	12	39
純資産合計	10,348	10,695
負債純資産合計	39,324	40,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	29,196	28,208
売上原価	23,992	23,691
売上総利益	5,203	4,516
販売費及び一般管理費	3,702	3,677
営業利益	1,501	839
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	5	6
負ののれん償却額	188	181
その他	144	173
営業外収益合計	347	369
営業外費用		
支払利息	265	268
持分法による投資損失	—	23
為替差損	75	—
その他	92	166
営業外費用合計	433	458
経常利益	1,414	749
特別利益		
固定資産売却益	—	2
退職給付制度改定益	13	—
特別利益合計	13	2
特別損失		
投資有価証券評価損	4	1
災害による損失	13	—
特別損失合計	17	1
税金等調整前四半期純利益	1,410	751
法人税、住民税及び事業税	191	90
法人税等調整額	400	324
法人税等合計	591	415
少数株主損益調整前四半期純利益	818	336
少数株主利益	2	3
四半期純利益	816	332

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	818	336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	0
繰延ヘッジ損益	1	1
為替換算調整勘定	△39	131
持分法適用会社に対する持分相当額	—	0
その他の包括利益合計	△40	133
四半期包括利益	777	469
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	775	465
少数株主に係る四半期包括利益	2	3

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プリント 配線基板 事業	工業材料 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,677	5,519	29,196	—	29,196
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	23,677	5,519	29,196	—	29,196
セグメント利益	1,111	386	1,498	2	1,501

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プリント 配線基板 事業	工業材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,921	5,286	28,208	—	28,208	—	28,208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	22,921	5,286	28,208	—	28,208	—	28,208
セグメント利益 又は損失(△)	568	288	856	△18	837	1	839

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EV事業を含んでおります。平成24年10月1日より、EV事業部を新設し、同事業を開始したことにより、当第3四半期連結累計期間において、「プリント配線基板事業」に含まれていたEV事業を「その他」として表示しております。なお、この変更に伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報にあたる影響はありません。

2. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「工業材料事業」において、当社の連結子会社である昭和KDE(株)が新たに(株)エトー商事及び(株)エトーインダストリーの株式を取得し連結の範囲に含めたことから、当第3四半期連結累計期間においてのれんが119百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(株)エトー商事及び(株)エトーインダストリーの株式を取得しております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間末の「工業材料事業」セグメントの資産の額が493百万円増加しております。

上記「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報(注)1。」に記載のとおり、「その他」の区分にEV事業を表示しております。これにより、土地、建物及び株式を「プリント配線基板事業」から「その他」に振り替えたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間末の「プリント配線基板事業」セグメントの資産の額が1,262百万円減少しております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益がそれぞれ「プリント配線基板事業」で6百万円、「工業材料事業」で3百万円増加しております。